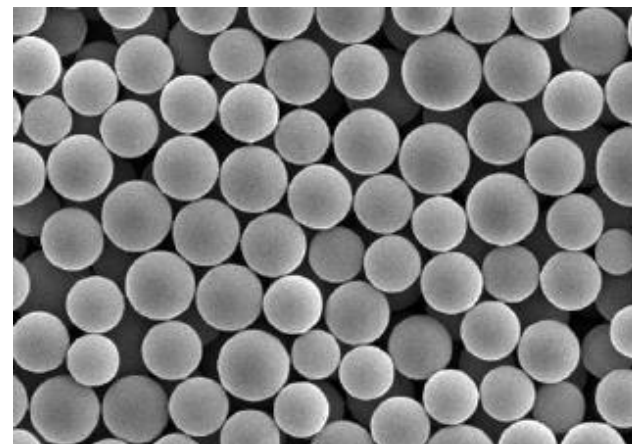


希望する連携形態：実施許諾契約、共同研究契約、技術検討のための契約 など

# マイクロプラスチック問題の解決に貢献する 分解性を有するバイオベースの新規ポリマー微粒子

背景

現在、世界中でプラスチックによる環境問題への影響が深刻化している。特に、微細なマイクロプラスチック（5mm以下）に有害化学物質が付着し、海に広がることで、海洋生物や人体への悪影響が懸念されている。そのため、自然環境で生分解されるプラスチック及びポリマー微粒子が求められる。

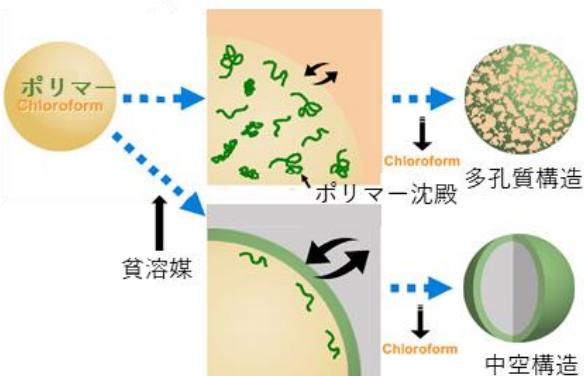


## Overview

技術の内容

### 分解性を有する新規ポリマー微粒子の簡便な製造技術

- ・石油由来の成分と生物由来の成分を混合し、分解性を有する新規のポリマーの微粒子製造技術を開発
- ・溶媒の放出速度と析出速度の制御により、簡便な構造制御が可能



## Benefit

技術の利点

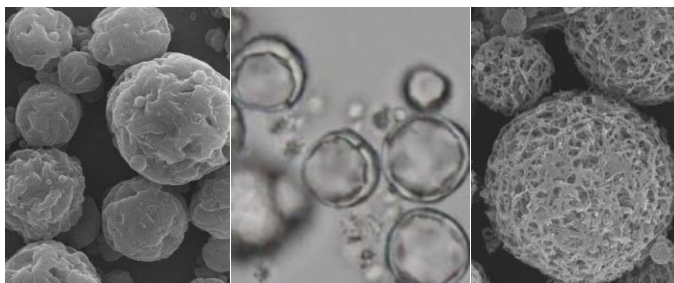
### ポリマー微粒子の構造制御が可能 (密実球状/中空構造/多孔質構造 等)

- ・密実球状や微細な中空構造、又は多孔質構造等が作成できることで、汎用プラスチックの代替材料としての可能性拡大
- ・分解性を発揮

密実球状

中空構造

多孔質構造



## Practical use

産業への応用

### 化粧品や農薬関係等の幅広い 応用の可能性あり

- ・化粧品（ファンデーションやクリーム、スクラブ製品等）
- ・農薬関係（被覆肥料等）
- ・接着剤やインキ、塗料等の工業製品 など



※イメージ画像

※イメージ画像



神戸大学産官学連携本部 | 株式会社神戸大学イノベーション

KUI 担当者 松村 優香 | TEL : 078-803-6649 | Mail : info@kobe-u-innov.jp

有機材料 | 環境・エネルギー | 特許出願あり | 2022.09.06